

12 下水道

庄内地域の生活排水処理施設は、都市部にあつては公共下水道、農村部にあつては農業集落排水、山間部等の地域にあつては合併浄化槽方式で整備されてきた。

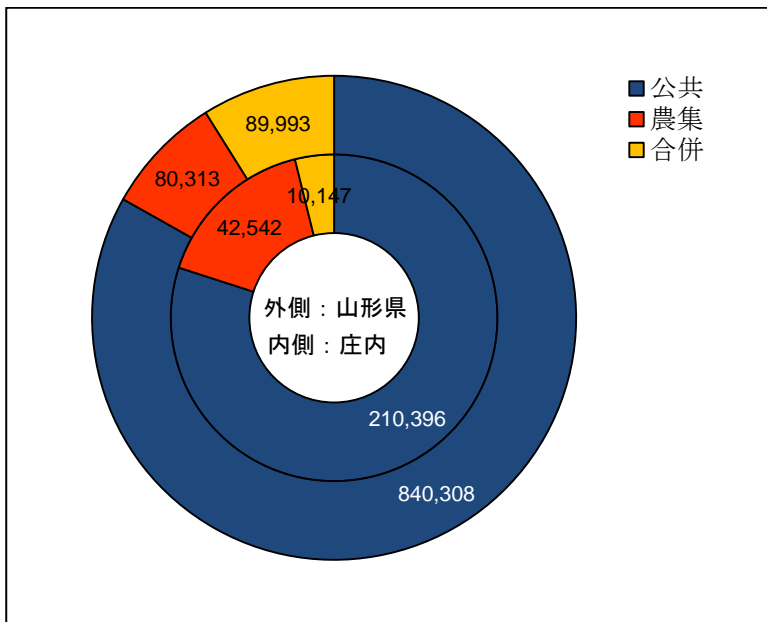
地形が多様なこともあり、普及率は市町村によって大きく異なる現状にあるが、県平均 91.8% をやや上回る 95.9% の普及率となっている。処理区別人口は県全体と比較すると庄内は農村部の割合が大きいという特徴がみられる。

なお、県が事業主体として関わっている事業としては、最上川流域下水道事業（庄内処理区）がある。

◇生活排水処理施設の普及状況

普及率（平成 29 年度末）：95.9%（県平均 91.8%）

【図 2 1】処理区別人口数（平成 29 年度末）（単位：人）



資料：県下水道課

【表 6 9】最上川下流域下水道事業（庄内処理区）の概要

名称	庄内処理区
計画処理面積	2,161ha
計画処理人口	36,200 人
関係市町	鶴岡市・酒田市・庄内町・三川町

※数字は平成 29 年度末現在